

# ILS 留学カウンセラー便り 2020年6月号

こんにちは、留学カウンセラーの藤下です。4月からは私自身の留学体験談をご紹介します。留学を具体的にイメージしていただく参考になれば幸いです。

## U・S・A 大学留学体験談その3



1998年夏、アメリカの大学に到着。慌ただしく寮生活を始め、9月からは授業が始まりました。

渡米前に、英語力の確認のためTOEFLテストを受験しました。その点数に応じて、ESL(留学生の英語力を補強するためのクラス)受講が必要だからです。結果は…最初の1タームほとんどESLクラスを受けないといけなほど散々なものでした。事前に勉強もせずTOEFLを受験した自分が悪いのですが、ものすご〜くあわてました。私には一年間という限られた時間しかないのに(T\_T)!と。ESLクラスの先生、そして受講したいコースの教授に直接お願いに行き、なんとかESLを減らして通常授業に参加させてもらえることになったのです。自身の準備不足を深く反省しました。

### 私が受講した授業一覧

- ・ ESL 英語準備クラス
- ・ American Literature アメリカ文学
- ・ German ドイツ語
- ・ Linguistics 言語学
- ・ Women's Studies 女性学
- ・ Anthropology 人類学



※右画像は大学の授業のイメージです、実際は色々なタイプの教室があります。ちなみに私はいつでも前から1〜2列目の席に座っていました、教授の話もクラスメートの発表もよく聞こえる特等席ですよ。

それはそれは勉強しました。授業の内容は全て録音して、自室で教科書とつきあわせながら聞き直し復習しました。辞書もボロボロになるほど引きました。しかし困ったのは課題。持ち帰りの宿題はまだなんとかなりましたが、「今日の授業内容について考えを述べて」「君の感想を〇字以内に書いたら提出して帰っていいよ」という即興の課題は恐怖でした。

アカデミックな内容を英語で議論したり文章で書く練習など、それまでしたことがなかったのですから。まともに話せず書けず、情けなくて泣きながら帰ったこともあります。それでも授業は楽しみでした。そして「私ここがよく分かってない!ヘルプ!」と声をあげると、クラスメートがノートを貸してくれたり、図書館での勉強会に誘ってくれたりし始めました。教授にも積極的に相談し勉強方法や参考文献などのアドバイスをもらいました。予習復習の仕方が分かり耳がネイティブの会話スピードに追いついてくると、タームの始めには最低評価だった私が最終的にA+をもらえるほどになりました。

しかし、本当に大変でした。やはり英語でアカデミックな授業を受けるための準備はしておくべきです。どうやって? How??

実は、そんな大学留学希望者のための強い味方、「**パスウェイ**」という留学システムがあるんです。一年目は、大学附属カレッジで、大学の授業を受けるための力をつけるファウンデーションコース。そこで英語力を伸ばしつつ、進学希望の学部・コースに関連する基礎知識や、高等教育レベルの学習スキルなどを学びます。一定の成績をクリアして修了すればそのまま大学に編入できるという仕組みです。うらやましい・・・私もそういう進学準備コースを受けることができていたらよかったな・・・

そういった最新情報を常に把握し提案できる留学エージェントと出会うことが留学成功の重要なスタートラインです。留学に興味を持たれたら、まずは弊社の無料カウンセリングにお気軽にお申込みください。

次回以降も、私の留学体験をご紹介します。

ILSの最新情報はFacebook、HP [www.ils.jp](http://www.ils.jp) をご覧ください

ILS留学カウンセラー 藤下智美 Tomomi Fujishita

略歴：岡山大学文学部在学中、文部科学省奨学金を受けアメリカ・インディアナ州 ボールステイト大学に1年間留学。帰国後は食品会社の国際規格取得や、大学病院での海外医療団受け入れなどを担当。2019年4月ILS入社。

INOUE LANGUAGE STUDIES Co.,Inc.  
有限会社井上直美留学研究所

〒700-0011 岡山市北区学南町1-9-25

TEL (086)251-0203 FAX (086)251-0230 EMAIL [ryuugaku@ils.jp](mailto:ryuugaku@ils.jp)

ILS

